

【産学連携 Vol.1】

ハリマ化成グループ株式会社×金城学院大学

ロジンを利用した創薬シーズの創製

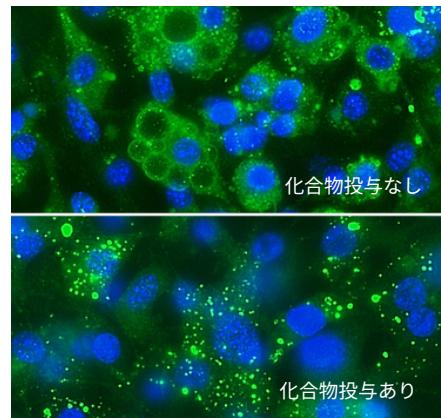


ロジン（結晶）

【図解】松から医薬品へ



脂肪細胞での脂肪滴（緑色）の変化



「松」由来の天然物で肥満に挑む。共同研究で特許出願へ。

近年、肥満は糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の発症と密接に関係しており、社会的に大きな健康課題となっています。こうした社会課題に応えるべく、ハリマ化成グループ株式会社と金城学院大学は、長年の研究を通じて培われた知見に基づき、再生可能な天然資源である松から得られるロジン由来の化合物に着目。この化合物に抗肥満作用が示唆されることを確認しました。

本研究で得られたロジン由来化合物は、高脂肪食を用いた動物モデルにおいて体重減少作用が確認されており、この成果は現在、共同で特許出願が行われています。さらなるエビデンス構築に向けた研究と実用化に向けた長期的な検証を進めており、今後、医薬品など幅広い分野での活用が期待されています。



ハリマ化成グループ（株）リリース

研究の経緯・産学連携の意義

本研究は、ハリマ化成グループ株式会社が持つロジンに関する長年の基礎的知見と、本学が培ってきた薬学の専門性が融合したことで実現しました。

肥満という社会的に大きな健康課題に対し、再生可能な天然資源、特に松由来のロジンから得られるアビエチン酸を原料とし、安定的に医薬品シーズを提供し、その結果、広く人類の保健医療に貢献できる点に、この産学連携の大きな意義があります。この共同研究を通じて得られた知見は、広く社会への波及効果も期待できます。



ハリマ化成グループ 金城学院大学

【本件に関するお問い合わせ先】〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地 金城学院大学 研究推進・地域連携課 052-798-0180（代表）



薬学部 薬学科
教授 青柳 裕

専門分野：天然薬品化学、創薬化学、薬学教育
研究課題：環境調和型化学を指向した創薬機能性分子の創製と構造活性相関研究、植物由来天然物を利用した医薬品シーズの創製



薬学部 薬学科
教授 山口 智広

専門分野：放射薬学、細胞生物学、生物分子化学
研究課題：培養細胞を用いた脂肪細胞の研究